



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 杉田エース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7635 URL <http://www.sugita-ace.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 裕介
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐藤 正 TEL 03-3633-5150
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,607	3.3	△61	—	△31	—	△44	—
2020年3月期第1四半期	12,202	0.3	△378	—	△351	—	△167	—

（注）包括利益 2021年3月期第1四半期 △3百万円（—） 2020年3月期第1四半期 △176百万円（—）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△8.31	—
2020年3月期第1四半期	△31.17	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	29,536	9,956	33.7	1,855.80
2020年3月期	32,285	10,121	31.3	1,886.51

（参考）自己資本 2021年3月期第1四半期 9,956百万円 2020年3月期 10,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—				
2021年3月期（予想）		0.00	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	△7.2	370	△32.5	475	△28.1	300	△27.8	55.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	5,374,000株	2020年3月期	5,374,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	8,853株	2020年3月期	8,853株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	5,365,147株	2020年3月期1Q	5,365,167株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想の見直し等の記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4月には政府から緊急事態宣言が発出され、企業活動の制限を余儀なくされ、国内外の経済活動に大きな影響を及ぼし、先行き不透明な状況で推移しました。

住宅建設業界につきましては、持家の着工は横ばい、貸家の着工は弱含みで推移しました。首都圏のマンション販売戸数は減少傾向にあり、全体的に弱含みで推移しました。

当社グループは、このような厳しい事業環境において、営業活動のリモート対応、新型コロナウイルス対策の衛生商品の拡販、自社配送の強化等に取り組んでまいりました。

また、当第1四半期連結会計期間よりセグメントの変更を行い、従来のエンジニアリング事業をルート事業に統合することにより、業務の効率化と営業所の機動性向上を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高12,607百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業損失61百万円(前年同四半期は378百万円の営業損失)、経常損失31百万円(同351百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円(同167百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の商品区分別売上高は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より事業セグメント区分の変更を行ったため、前年同四半期比較については変更後の区分により再集計した数値を基に算出しております。

商品区分	ルート事業	直需事業	計	構成比
住宅用資材(百万円)	5,335	—	5,335	42.3%
ビル用資材(百万円)	5,161	—	5,161	40.9%
DIY商品(百万円)	123	1,166	1,289	10.2%
OEM関連資材(百万円)	—	321	321	2.6%
その他(百万円)	499	—	499	4.0%
合計(百万円)	11,119	1,487	12,607	100.0%

①ルート事業(ルート事業は、住宅用資材及びビル用資材等を、二次卸・金物店・建材店等へ販売しております。また同資材を建材店・販売工事店へ、独自のノウハウによる設計・加工・施行等の付加価値を加味した販売を行っております。)

ルート事業については、新型コロナウイルス感染の影響で、資材の遅れ、職人不足等により工期が大幅にずれこむ案件や、工事そのものが中止になる案件が見受けられました。

このような状況の中、前期末に工事が予定通りに完成せず、今期にずれこんだ案件もありましたが、例年の傾向と比較すると工事の完成実績は減少いたしました。

一方、当社グループは、新型コロナウイルス感染対策商品の販売に注力し、宅配における配達者と荷受者の接触を避けるための宅配ボックス、換気のために窓を開ける機会増に対処する網戸、衛生用品(マスク、除菌スプレー)、飛散防止パネル、シートフィルム等の拡販を行い、工事案件の落ち込み分をカバーしました。

この結果、ルート事業全体の売上高は、11,119百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

②直需事業(直需事業は、ホームセンター、通販会社、百貨店等、一般小売店向けのDIY商品、及びOEM関連資材、その他商品を販売しております。)

直需事業については、新型コロナウイルス感染症予防対策関連商品として網戸を始めとした換気商材、ステイホームの影響にて自分でプチリフォームを行う人が増えたことにより、各種補修材、塗料等の消耗資材がホームセンター、通販会社等に拡販することができました。また、ガーデニングを行う人も増加し、PATIO PETITEを始めとしたガーデン商材も拡販することができました。更には、外出自粛等による需要拡大でイザメシの販売も好調に推移しました。

この結果、直需事業全体の売上高は、1,487百万円(同14.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は22,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,819百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2,854百万円、電子記録債権が195百万円、未収入金が122百万円それぞれ減少し、たな卸資産が479百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が62百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は29,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,749百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は17,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,494百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,179百万円、電子記録債務が1,344百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は2,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が88百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は19,580百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,584百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円及び剰余金の配当160百万円による利益剰余金の減少、並びにその他有価証券評価差額金38百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は33.7%（前連結会計年度末は31.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2020年8月7日）公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,883	2,696
受取手形及び売掛金	15,099	12,244
電子記録債権	2,013	1,817
たな卸資産	3,816	4,296
未収入金	1,054	931
その他	38	97
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	24,897	22,078
固定資産		
有形固定資産	5,226	5,289
無形固定資産	356	342
投資その他の資産	1,805	1,826
固定資産合計	7,388	7,458
資産合計	32,285	29,536
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,535	5,356
電子記録債務	10,932	9,587
1年内返済予定の長期借入金	433	392
未払法人税等	199	19
賞与引当金	357	177
その他	1,097	1,528
流動負債合計	19,556	17,062
固定負債		
長期借入金	1,513	1,424
退職給付に係る負債	440	434
役員退職慰労引当金	519	527
その他	134	131
固定負債合計	2,607	2,517
負債合計	22,164	19,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	9,000	8,795
自己株式	△4	△4
株主資本合計	10,103	9,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	75
退職給付に係る調整累計額	△18	△16
その他の包括利益累計額合計	18	58
純資産合計	10,121	9,956
負債純資産合計	32,285	29,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	12,202	12,607
売上原価	10,429	10,755
売上総利益	1,772	1,851
販売費及び一般管理費	2,151	1,912
営業損失(△)	△378	△61
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	3
仕入割引	27	27
受取家賃	10	10
その他	3	8
営業外収益合計	46	49
営業外費用		
支払利息	2	1
手形売却損	3	2
売上割引	13	14
その他	0	1
営業外費用合計	19	20
経常損失(△)	△351	△31
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△352	△31
法人税、住民税及び事業税	11	11
法人税等調整額	△196	1
法人税等合計	△184	12
四半期純損失(△)	△167	△44
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△167	△44

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△167	△44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	38
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△9	40
四半期包括利益	△176	△3
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176	△3
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ルート事業	直需事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,907	1,294	12,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	10,907	1,294	12,202
セグメント利益	48	△16	32

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	32
全社費用(注)	△411
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△378

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ルート事業	直需事業	
売上高			
外部顧客への売上高	11,119	1,487	12,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	11,119	1,487	12,607
セグメント利益	256	22	279

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	279
全社費用(注)	△340
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△61

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループの報告セグメントの事業区分は、「ルート事業」「エンジニアリング事業」「直需事業」の3事業としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、従来のエンジニアリング事業をルート事業に統合することにより、業務の効率化と営業所の機動性向上を図るため、「ルート事業」「直需事業」の2事業に変更しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の組織により再集計した数値を基に作成したものを開示しております。